

2007年3月期中間決算概況 および通期の見通し

常務取締役 釜井 節生

このプレゼンテーション資料には、2006年11月16日現在の、経営陣の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。経済情勢などに関わるリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

2006年度中間連結業績の概況

	05年度上期	06年度上期	(百万円) 前期比(差)
売上高	931,401	1,035,043	+11.1 %
売上総利益	153,969	168,139	+9.2 %
売上総利益率	16.5%	16.2%	▲ 0.3 pts
販管費	130,733	140,995	+7.8 %
営業利益	23,235	27,144	+16.8 %
オペレーティング ・マージン	15.1%	16.1%	+1.0 pts
経常利益	25,418	29,117	+14.6 %
当期純利益	9,797	13,011	+32.8 %

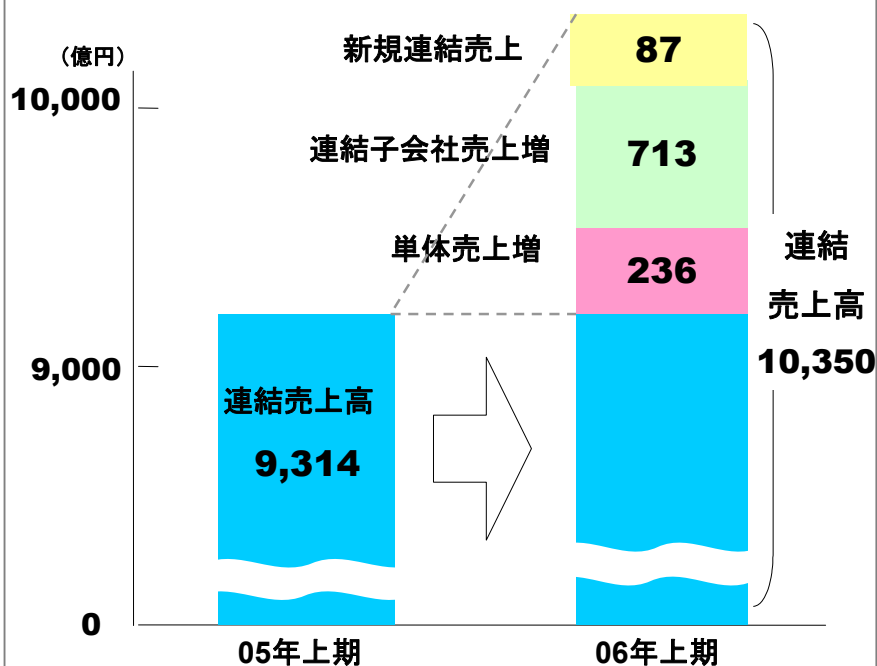
※ オペレーティング・マージン=営業利益÷売上総利益×100

連結売上高の成長

(百万円)

	05年度上期	06年度上期	前期比率(差)	前期比(差額)
売上高	931,401	1,035,043	+11.1%	+103,642

連結売上高の増加要因



(注) 新規連結売上、連結子会社売上増、単体売上増は内部取引控除後の金額を使用。
新規連結売上高には孫会社は含まない。

コメント

■ 対前年プラスの主なグループ会社

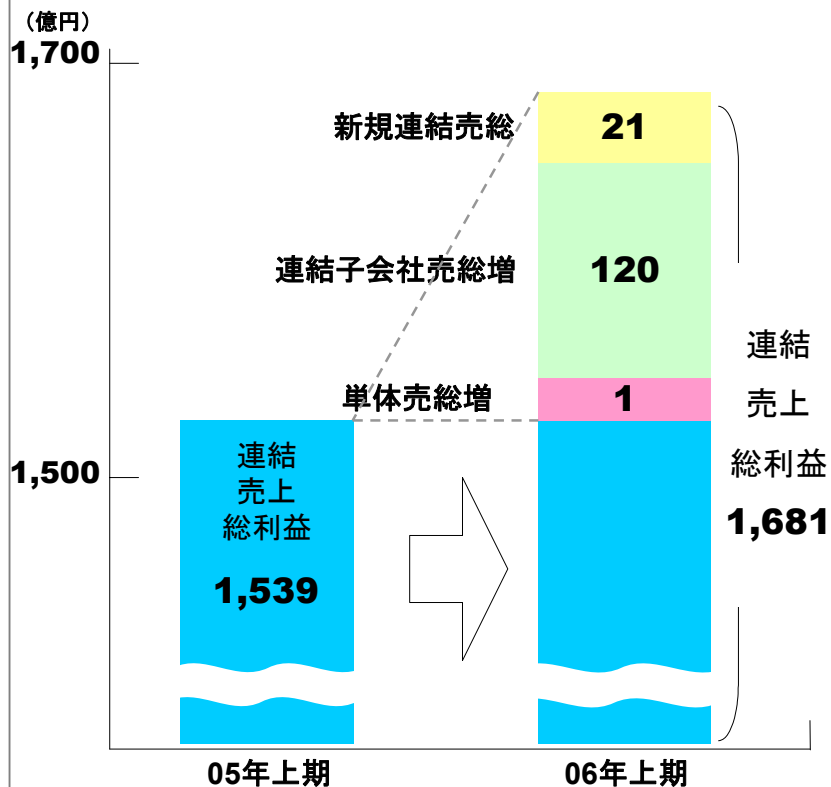
- ・単体 ワールドカップ開催
 (放映権セールス・マーケティング権、テレビ番組等)
- ・子会社 iSe(ホスピタリティ・プログラム販売)、
 北京電通 など
- ・新規連結 名鉄エージェンシー、電通ラテンアメリカ など

連結売上総利益の成長

(百万円)

	05年度上期	06年度上期	前期比率(差)	前期比(差額)
売上総利益	153,969	168,139	+9.2%	+14,170
売上総利益率	16.5%	16.2%	▲ 0.3ppts	—

連結売上総利益の増加要因



<注>新規連結売総には孫会社は含まれておりません。

コメント

■ 対前年プラスの主なグループ会社

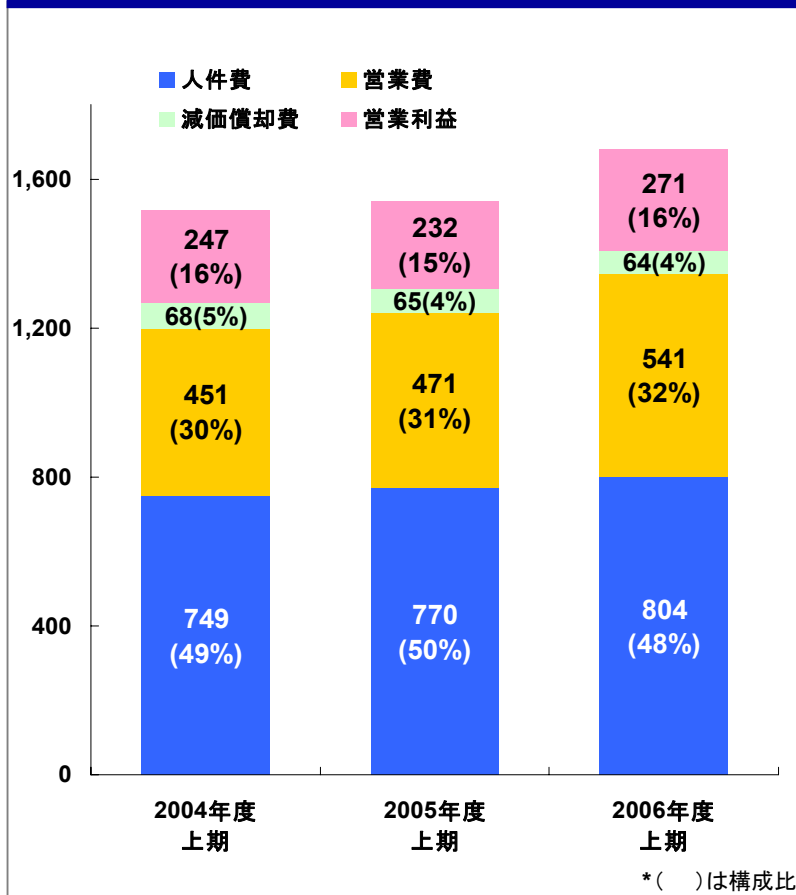
- ・子会社 iSe(ホスピタリティ・プログラム販売)
cci など
- ・新規連結 名鉄エージェンシー、Media Shakers、
電通ラテンアメリカ など

連結営業利益の成長

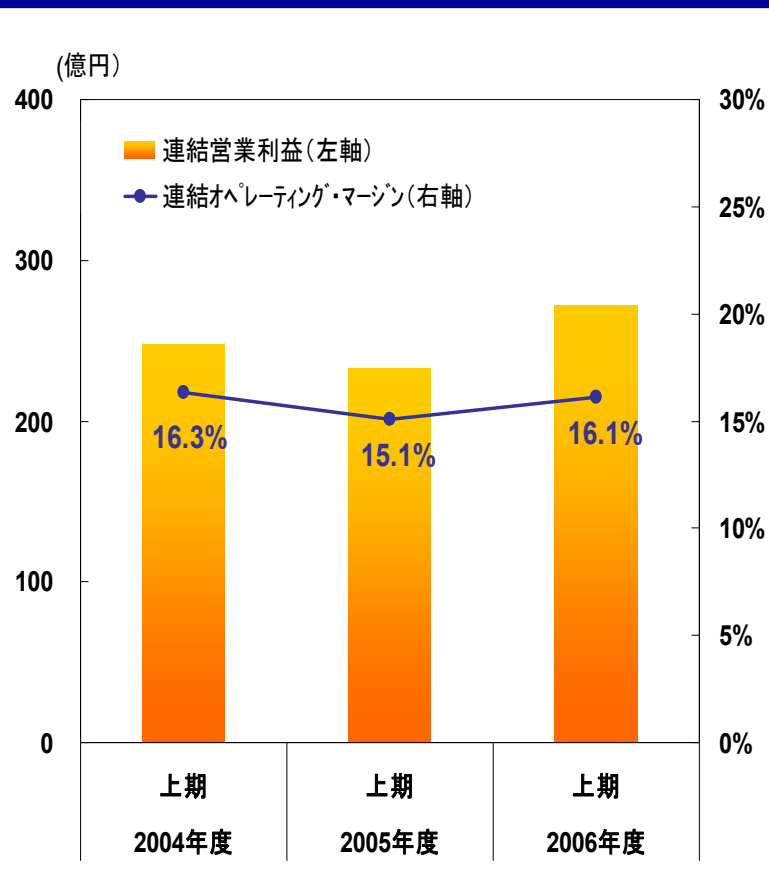
	05年度上期
営業利益	23,235
オペレーティング・マージン	15.1%

	06年度上期	前期比率(差)	前期比(差額)
営業利益	27,144	+16.8%	+3,909
オペレーティング・マージン	16.1%	+1.0 pts	—

コストからみた連結売上総利益の構成比



連結営業利益／オペレーティング・マージンの推移



連結経常利益・当期純利益の状況

(百万円)

	05年度上期	06年度上期	前期比
営業利益	23,235	27,144	+16.8%
営業外収益	3,945	3,691	▲ 6.4%
営業外費用	1,762	1,718	▲ 2.5%
合計	2,182	1,972	▲ 9.6%
経常利益	25,418	29,117	+14.6%
特別利益	1,661	1,589	▲ 4.3%
特別損失	4,867	3,760	▲ 22.7%
合計	▲ 3,206	▲ 2,171	▲ 32.3%
税引前利益	22,212	26,946	+21.3%
当期純利益	9,797	13,011	+32.8%

コメント

■ 主な営業外収益の内訳

持分法投資利益13億円、受取配当金7億円、
受取利息 5億円 等

■ 主な営業外費用の内訳

支払利息11億円、投資組合出資損失2億円

■ 主な特別利益の内訳

投資有価証券売却益5億円、固定資産売却益5億円

■ 主な特別損失の内訳

投資有価証券評価損21億円、特別退職金4億円
(早期退職)

連結貸借対照表

(百万円)

	06年3月	06年9月	前期末比
流動資産	708,414	615,938	▲ 13.1%
固定資産	569,308	575,072	+1.0%
資産合計	1,277,722	1,191,010	▲ 6.8%
流動負債	590,140	510,344	▲ 13.5%
固定負債	138,904	123,098	▲ 11.4%
負債合計	729,045	633,442	▲ 13.1%
株主資本	510,985	532,849	+4.3%
評価・換算差額等	10,195	3,351	▲ 67.1%
少数株主持分	27,496	21,360	▲ 22.3%
純資産合計	548,677	557,567	+1.6%
負債・純資産合計	1,277,722	1,191,010	▲ 6.8%

コメント

■ 主な資産の増減の要因

- ・ワールドカップ関連の資産の減少
- ・受取手形及び売掛金の減少

■ 主な負債の増減の要因

- ・ワールドカップ関連の負債の減少
- ・支払手形及び買掛金の減少

■ 財務指標

自己資本比率 45.0% (40.8%)

D/Eレシオ 0.19倍 (0.22倍)

()は06年3月末

キャッシュ・フローについて

キャッシュフローの状況

営業活動によるキャッシュ・フロー
+224億円

投資活動によるキャッシュ・フロー
△148億円

財務活動によるキャッシュ・フロー
△188億円

現金及び現金同等物の増減
△107億円

<注>現金及び現金同等物には、換算差額5億円を含む。

コメント

連結当期純利益	+130億円
減価償却費等	+85億円
運転資本	+40億円

投資有価証券等の取得 △101億円

長期借入金減少	△247億円
CP発行	+100億円
配当金支払	△40億円

※キャッシュの増(+) キャッシュの減(△)

通期の連結業績見通し

(百万円)

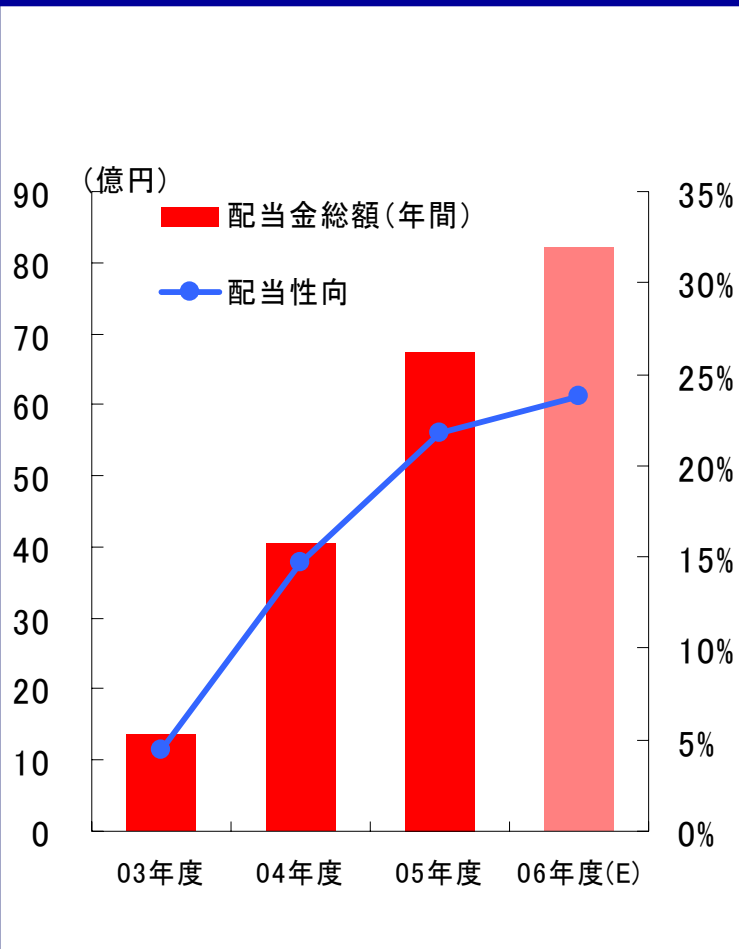
	2006年3月期 実績	2007年3月期 見込	前期比(差)
売上高	1,963,296	2,117,585	+7.9 %
経常利益	64,837	68,827	+6.2 %
当期純利益	31,002	34,571	+11.5 %

※1 オペレーティング・マージン＝営業利益÷売上総利益×100

※2 連結損益に関して、持分法適用会社となるピュブリスグループの下期損益に対する 当社持分の取り込み等の影響については、織り込んでおりません。

当中間期の配当について

配当金総額と配当性向(連結)の推移



中間配当総額 約41億円(年間計約82億円予定)
 1株あたりの中間配当金1,500円
 (期末1,500円 年3,000円予定)

【利益配分の基本方針】

- ・事業成長による企業価値の長期的な成長
- ・安定的な配当
- ・機動的な自己株式の取得